

個人山行 「鉾山町 オマンベツ沢」 平成27年8月30日（日）

L：澤田時人 SL：河村 勝、近藤 功会長 M：11名（記録 安田一厚）

7時30分：ほぼ予定通り3台の車に便乗し、「幌別来馬川」の入溪ポイントへ向かう。
今年初めての沢に、昨夜から準備したが結構忘れ物あり。多少の不安を抱きながらも始めて入る沢に、期待も膨らむ。2箇所あるゲートも上手く通過でき、ラッキー。ダメだったら、駐車ポイントまで3、1kmの林道歩き（1時間）だった。

8時30分：準備体操を終えて崖を下って、入溪。思ったほど水は冷たくはない。リーダーを先頭に順調に進む。間もなく小さな滝が現れ、左岸をヘツリ滑床の上にする。



9時10分：再び滝が現れ、ヘツリが中々難しい・・・とか何とかの間に「酒井さん」がスルスルっと、涉ってしまう。相変わらず身の軽い人だ、続けて河村 SL が飛び込みアット言う間にも、ロープを準備。意を得たメンバーは女性郡から順次ロープに確保されながら、全員無事に通過。あまり深くはないので、皆さん結構楽しんでいる様子。



ここで始めて、小雨が降っているのに皆気がつく。尾根歩きなら雨具？を考える位だが、もう既ににずぶぬれ面々はなんのその。きにしない、きにしない。

9時40分：今度は廊下状態の暗いが、苔生したが素晴らしいポイントにはいる。思わず苦小牧の「苔の洞門・楓の沢」を思い出す。 それくらい素敵。

そしてその先には2度目の滝、カマ。もう、これは泳ぐしかない??。と、その時またまた 河村 SL がロープを持ちすい〜すい〜と泳ぎだす。フィックスロープが張られ、メンバーは水に入らず何とか難所を突破していると・・・近藤会長 SL がドボンと飛び込み、ザツを浮き袋かわりにスイ〜スイ〜と泳ぎだす。 しかも気持ち良さそうに。水に入らなくても良いはずなのに・・・? SL の責任感からか?。 それにしても今回参加者の中では最高高齢者?。

これを見ていた私は、びっくりしたがやがて感動の気持ちに変わっていった。若者にはまだまだ引けを取らない会長の勇気と、感動と、アクティブは素晴らしいものがあつた。 おかげで、全員無事渡りきり、程無く進んだ地点で今日のファイナル地点となつた。



10時10分：崖をよじ登り、平行にある林道に出る。車まで歩いたらなんと10分少しで着いてしまった。 本当に皆達成感のある満足そうな顔でした。鉾山で昼食を済ませ帰路。へつり、ドボン・・・と、スリルのある沢をリードしてくれました「澤田さん、河村さん、近藤会長」本当に有難うございました。 又来年、あつ〜い時に企画して下さい。 （写真：相馬さん提供）